



from ICHINOSEKI
一関

身ぶりも豊かに歌を披露した「ぼけっこの会」の皆さん

優しさと笑顔がいっぱい

障がい者福祉まつり

2007障がい者福祉まつりは9月30日、サン・アビリティーズ一関などで行われ、市内の障害者、社会福祉関係者など約2300人が参加しました。

展示・販売コーナーでは一関市身体障害者福祉協議会、千厩ワークプラザなど各団体が心を込めて作り上げた作品を展示、販売。トライアスロンコーナーでは車いす体験、目隠し歩行などが行われ、来場者は少しの段差でも車いすの人には障害となることを改めて実感していました。ステージコーナーでは障害者団体、ボランティア団体が歌や楽器、手話などを披露し、一生懸命な姿に盛んな拍手が送られました。



from HANAIZUMI
花泉



上／迫力のばちさばきで会場を魅了した松川一の宮太鼓
左／総勢1000人が競演した勇壮な「いわいばやし」でフィナーレを飾りました

大地を揺るがす鳴動

磐井太鼓フェスティバル

第13回磐井太鼓フェスティバルin花泉(磐井太鼓同志会主催)は9月30日、花泉体育館で行われました。両磐地方を中心に県内、宮城県の22団体が出演し、勇壮な太鼓の響きを約400人が詰め掛けた会場いっぱいにとどろかせました。

フェスティバルは大東琢磨太鼓、千厩八幡太鼓など、4つのジュニア太鼓団体の演奏で開幕。いさか太鼓保存会(弥栄)は小学生と中学生がそれぞれ力強い演奏で会場を沸かせました。松川一の宮太鼓(八幡平市)は華麗なフォーメーションを交えながら躍動感あふれる演技で観客を魅了。宮古若潮太鼓(宮古市)は「海の幻想」など2曲を演じ、波が迫ってくるかのような迫力ある響きを会場内にとどろかせました。

磐井太鼓同志会を構成する両磐地区内13団体は、平泉の文化遺産をイメージした新曲「大地勇悠」を初披露。振る舞いもちが会場にまかれた後、磐井太鼓同志会と出演団体有志による合同演奏「いわいばやし」がフィナーレを飾りました。

磐井太鼓同志会の小野寺安代表(千厩八幡太鼓)は「それぞれの団体の発表の場とレベルアップ、交流を目的に行ってきたこのイベントも13回を迎え、今年は子どもたちの育成に力を入れようとジュニア団体を多く迎えました。和太鼓のパワーを来場した皆さんに感じてもらえたと思います」と話していました。

川って怖いけど楽しい!?

砂鉄川でカヌー体験

身近な川に親しみ、怖さだけでなく楽しさも体感しようとして9月24日、門崎市内の砂鉄川で砂鉄川交流実行委員会によるカヌー体験が催されました。秋晴れの下、門崎小5年生16人が親子で参加。9艇に3人ずつ乗り、布佐橋下から川崎防災センター下まで約4kmの川下りを満喫しました。

流れの緩やかな布佐橋下でカヌーの操作を練習後、いよいよスタートしたものの、途中の浅瀬で座礁・転覆が相次ぎ、参加者はハラハラドキドキの連続。少し冷たい川の水を浴びた子供たちは「気持ちいい」「面白い」と目を輝かせ、歓声を上げていました。



from KAWASAKI
川崎

たちまち余裕の笑顔を見せる子供たち

秋の夜にぎわう商店街

せんまや夜市200回記念

200回の節目を迎えたせんまや夜市(千厩夜市実行委員会主催)は10月13日、千厩町の本町・新町商店街で催されました。

今年の最終と200回目が重なった今回の夜市は、地元の関根四きょうだいの三味線演奏や豪華景品が当たるジャンボダーツ、和牛もも肉の丸焼きの振る舞いなど、盛りだくさんのイベントが繰り広げられました。裸電球で照らされた商店街は市内外から訪れた大勢の買い物客でにぎわっていました。

昭和57年に始まった夜市は、毎年4月から10月までの第2土曜日に商店街を歩行者天国にして行われています。



from SENMAYA
千厩

仮装した子どもたちがお店を回り一足早いハロウィン



from DAITO
大東

輪ゴム鉄砲を例に、工夫することの大切さを伝える酒井さん

ものづくりの楽しさ学ぶ

少年少女発明クラブ講演会

大東町少年少女発明クラブ主催による講演会は9月30日、大東農村環境改善センターで催されました。これまで、「岩手県発明くふう展」において入賞するなど、高い活動の成果を上げている同クラブ。ものづくりの楽しさと素晴らしさを学ぼうと、講師に元東北大学教授の酒井高男さんを迎え、「考えて作る楽しみ」と題した講演が行われました。

酒井さんはさまざまな仕事を事例に挙げながら、「若い時にこそ、考えて工夫する力を身に付けることが大切」と、参加した児童らに訴えかけました。



from HIGASHIYAMA
東山

ボランティアスタッフと一緒に舟下りを堪能

渓谷に響く歓喜の声

「ひまわり号」for 猯鼻溪舟下り

障害者友情列車「ひまわり号」for 猯鼻溪舟下り(ひまわり号を走らせる宮城実行委員会主催)は10月14日、宮城県内から77人が参加して行われました。

専用列車で猯鼻溪駅に到着した一行を約40人のボランティアが出迎え、地元の歓迎に実行委員長の松野豊さんは「人と人と心が寄せ合う運動は今年で22年目を迎えました。ご協力をいただき皆さんありがとうございます」とお礼を述べました。

一行は楽しみにしてきた猯鼻溪の舟下りをボランティアと一緒に堪能。美しい渓谷の眺めと船頭さんの「げいび追分」に歓声を上げていました。

狙うはアタックNo.1

室根町家庭バレーボール大会

第42回一関市室根町家庭バレーボール大会(一関市体育協会室根支部主催)は10月7日、きらめきパーク体育館と室根中体育館を会場に催されました。自治会単位のチーム構成で、青年男子・壮年男子・女子・実年の4部門に35チームが参加。6人制競技規則を基本に、初心者にもプレーしやすいよう室根独自の規則を設け、トーナメント戦を繰り広げました。

各試合とも白熱した試合で、体育館内は熱気と歓声に包まれました。

成績は次のとおりです。■総合優勝=第19区自治会 ■総合準優勝=折壁町自治会



from MURONE
室根

ボールをつないで、ナイスアタック!